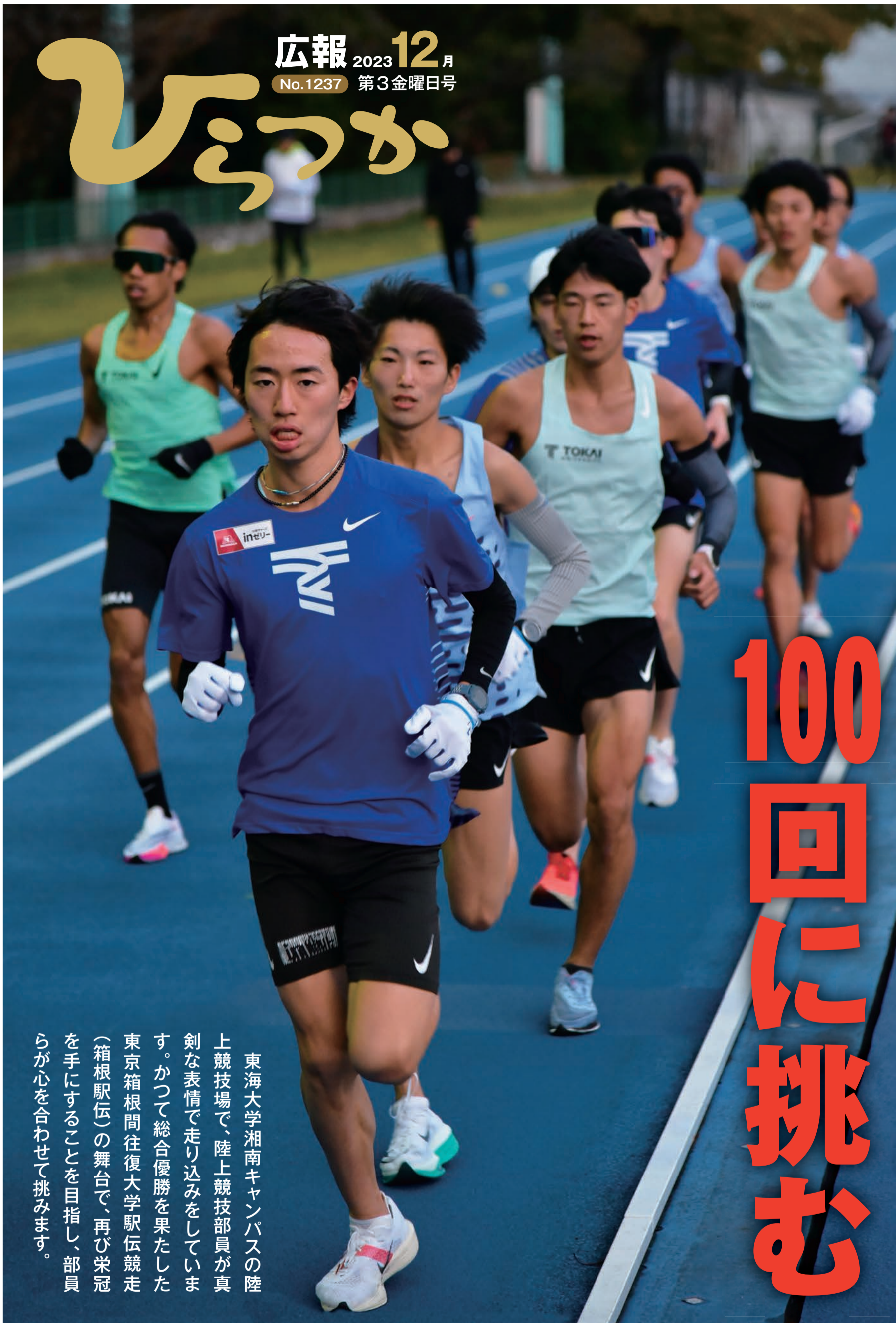


ひろつか

広報 2023 12月
No.1237 第3金曜日号



100 回に挑む

東海大学湘南キャンパスの陸上競技場で、陸上競技部員が真剣な表情で走り込みをしています。かつて総合優勝を果たした東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の舞台で、再び栄冠を手にすることを目指し、部員らが心を合わせて挑みます。

目次

1～3面…**特集** 思いをつなぐ平塚…箱根駅伝の中継所として数々の選手の思いをつないできた平塚。平塚と箱根駅伝とのつながりを紹介します。

4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひろつかTopics」「市長コラム」
広報ひろつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 〆0463-23-9467

●配布のお問合せは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)



思いをつなぐ平塚

東京箱根間往復大学駅伝競走が100回目



箱根

かつてのコースは
東海道(旧国道1号)

平塚
中継所

往路：唐ヶ原交差点
復路：高村不動産前

新春の風物詩・東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)。これまで数々のドラマを生み出してきました。毎年、平塚中継所で選手を応援するのが楽しみ、という方も多いのでは？ 今号では、箱根駅伝の中継所として選手の思いをつないできた平塚と箱根駅伝の関わりを紹介します。

平塚は第1回大会から中継所だった

次回の大会で100回目を迎える箱根駅伝。日本マラソンの父と呼ばれる金栗四三(しよぞう)の働きかけで、大正9年に産声をあげました。平塚には第1回大会から中継所が置かれ、幾多の選手の思いをつないできました。

『箱根駅伝70年史』(関東学生陸上競技連盟)によると、大正9年2月14日・15日の初大会は「四大校駅伝競走」の名前で開かれています。早稲田大学・慶應義塾大学・明治大学・東京高等師範学校(現在の筑波大学)の4校が参加したためです。風光明媚で多くの史跡に富む東海道を下って箱根の山に挑むのは勇壮で、宿泊や通信連絡にも便利だ、という理由で東京―箱根間のコースが決定されました。

最初に予定していた開催日は2月11日でしたが、紀元節(現在の建国記念の日)で学生らが各校の式典に参列しなければいけないことから、14日に順延されました。

終戦後の平塚を駆け抜けた夏苺さん

昭和4年に足柄下郡下中村(現在の小田原市)で生まれ、平塚で青春時代を過ごした夏苺晴良さん(下写真・箱根駅伝出場当時は旧姓の久保晴良さん)。現在94歳の夏苺さんは、昭和23年の第24回大会と昭和24年の第25回大会

で、明治大学の選手として4区を走り抜きました。第25回大会では明治大学が優勝。優勝メンバー10人のうち、残念ながら夏苺さん以外の皆さんはすでに鬼籍に入ったと言いま



は土曜日のため、学生らは午前中の講義を受けてから大会がスタート。午後1時に有楽町の報知新聞社前(現在の読売会館)を出発しました。平塚中継所に1位の明治大学の選手が到着した時刻は午後5時6分9秒。箱根小学校前のゴールにも明治大学の選手が1位で到着しました。箱根町の青年団がたいまつを手に、暗夜を照らしたといえます。

15日の復路はあいにくの雪。午前7時に箱根を出発し、平塚中継所に1位の明治大学の選手が到着したのは午前10時2分50秒。近隣の住民が傘のトンネルを作って選手を励ましたそうです。県立農業学校(現在の平塚農商高校)の生徒らは大磯や馬入の河畔に散らばり、雪の中を駆ける選手に声援を送りました。報知新聞社前のゴールには、明治大学に逆転し東京高等師範学校の選手が1位で到着。総合記録は15時間5分16秒でした。

中継所は東海道と海沿いを移りゆく

『箱根駅伝70年史』の大会レポートによると、第1回大会

のときの平塚中継所は、富士の湯旅館前とされています。下の地図は、第6回大会が開かれた大正14年に作られたものです。第6回大会の中継所は牛田新聞店前で、下の地図の旧国道1号沿いに名前を確認できます。

箱根駅伝は幹線道路がコースになっていることから、交通事情などの理由で、これまでコースや中継所の位置が何度も変わってきました。かつては、現在のひらしん平塚文化芸術ホール周辺にあった平塚小学校や、平塚町役場(現在のオーケー平塚店)が中継所でした(下地図左側)。その後もガソリンスタンド前、平塚駅入口三叉路、市営プール前などの名前で、平塚市内で何度も中継所の位置が変わっています。

『箱根駅伝六〇年』(山本邦夫著)によると、平塚中継所が現在の唐ヶ原交差点と高村不動産前の付近で定着したのは、昭和45年の第46回大会のときです。当時は、花水レストハウス前という名称でした。

戦争の色残す平塚中継所

私は第2次世界大戦中に平塚農商高校に通っていて、4年生だった年の昭和20年8月に終戦を迎えました。戦争の勤労奉仕が終わり、5年生のときに本格的に陸上を始めました。私を含めた5年生3、

箱根駅伝を応援しよう

令和6年1月2日(火)・3日(水)

平塚中継所やテレビで熱戦を応援しませんか。市内にキャンパスがある東海大学と、平塚市と交流を続けている神奈川大学など23校が出場します。

海軍火薬廠の引き込み線

現在の崇善公民館

現在の新宿公園南側に、牛田新聞店の名前がある

かつての中継所

現在の湘南スターモール(かつての東海道平塚宿・旧国道1号)

現在のオーケー平塚店

(地図は博物館提供)



早稲田大学 大関篤史さん

70・71回大会

平成6年の第70回記念大会と平成7年の第71回大会で、早稲田大学の選手として箱根駅伝を走った大関篤史さん。地元・平塚を走った思いを聞きました。

私が箱根駅伝を意識するようになったのは、昭和62年に始まったテレビ中継がきっかけです。当時は県立平塚江南高校の陸上部にいたのですが、「いつか自分も箱根を走りたい」とテレビ中継を見ながら憧れました。早稲田大学を選んだのは、4年連続で「花の2区」を走った、早稲田大学OBでマラソンのスター選手・瀬古利彦さんの影響です。平成2年度から瀬古さんが早稲田大学でコーチをしていたこともあり、早稲田大学の選手になりました。

早稲田大学競走部の特徴は、推薦で入るエリートランナーの数が箱根で走る10人よりも少ないので、一般受験で入る叩き上げのランナーがその穴を埋めていく点。私も一般受験組なんです。いろいろな選手がいる中で、一つのチームとしてうまく融合するのが面白いところですね。早稲田大学に入学した後、初めて箱根駅伝に出たのは3年生

のときです。ちょうど第70回の記念大会で、平塚中継所でタスキを受け取って8区を走りました。念願の箱根駅伝当日は、平塚中継所でとにかくドキドキしていました。緊張するので周りをあまり見ないようにしていましたね。タイム差が付いていて平塚中継所に他大学の選手がいなかったの、テレビカメラも他に写すものがないものだから、ずっと僕を写していますし……。前の区間の選手の姿が見えてからタスキを受け取るまでの10数秒……待つ時間がすごく嫌なんです。後から映像を見ると笑顔なんです、本当は余裕なんてありませんでした。

走り始めてからは、ペースを保つのに苦労しました。当時は応援の旗が紙製だったので、旗の音が大きくて、自分の足音も聞こえないくらいだったんです。しかも、ちょうど運営管理車がなかった時代だったので、後ろからの監督の声掛けがなく、ペース配分を教えてもらうこともできない。前にも後ろにも他大学の選手がいなかったので、前の選手の背中を目指すこともできない。茅ヶ崎市の浜須賀交差点まで景色もあまり変わらな。早いのか遅いのか感覚が掴めないまま、最後まで走り切りました。結果として目標タイムを達成して、区間2位で次にタスキをつなげたのは本当に良かったしホッとしました。箱根駅伝は他の大会と比べても観客の多さが圧倒的で、特別な大会です。影響力のある大会なので、若い選手は出場して走れることを誇りに思っています。その経験は一生の財産になりますよ。



上写真：たくさんの方が集まる平塚中継所。右下はタスキを受け取る夏莉さん、後方には監督が乗った車が見える。左写真：小田原中継所で、5区の岡正康さん(右)にタスキを渡す夏莉さん(左)。自転車で並走している人たちや、沿道で応援する人たちが見える。(写真は夏莉さん提供)



100回大会

東海大学



東海大学陸上競技部の駅伝監督・両角速さん(左写真)。東海大学や、陸上の名門校・佐久長聖高校(長野県)で陸上の指導者として活躍し、オリンピック代表の佐藤悠基選手や、箱根駅伝で17人抜きの記録を作った村澤明伸選手らを育ててきました。箱根駅伝では、平成31年の第95回大会で東海大学を優勝に導いた名将です。自身も東海大学の選手として、昭和61年の第62回大会から昭和64年の第65回大会を4年連続で走り、そのうち第62回と第63回大会では平塚中継所でタスキをつなぎました。両角さんに、第100回大会に向けた思いを聞きました。

かつて自分が走った箱根駅伝が次の大会で100回目を迎えることに、歴史の重みを感じます。箱根駅伝を支えてきた先人たちに、敬意を表します。私自身も往路で平塚を走りましたが、平塚は正面に富士山が見える、きついけれども素晴らしいコースです。平塚中継所では、東海大学が地元の大学ということで、いつもたくさんの温かい応援をいただいていることに感謝しています。今回のチームは2年生が多いなど、比較的若い選手が多い編成です。未来の活躍も見据えて、応援していただけたらと思います。

駅伝は山登りの区間に象徴されるように、厳しい競技です。甘さを捨て、自分に厳しさを課して乗り越えていく、メンタルの強さが求められます。私は高校と大学で監督の経験を積み重ねる中で、選手づくりの前に人づくりが大切だという信念を持って指導してきました。選手らは競技者である前に学生です。「皆さまの支援や応援があつてこそ、好きな競技に打ち込める」という感謝の気持ちや礼儀といった、心を育てることを重視しています。

第100回大会での東海大学の目標は、「復活の狼煙を上げる」です。シード権獲得を目指して頑張ります。

当時の平塚中継所は、平塚市役所前(2面下地図の平塚町役場と同じ位置)にあり、まだかまだかと待っていたら、沿道を自転車で走って様子を見てきた観客が、「3区の選手が馬入川のあたりで走れなくなっていて、歩いているぞ」と教えてくれたんです。その頃は厳密な交通規制もなかったため、自転車選手に並走してくる人がたくさん



人と4年生3人のチームでいろいろな大会に出て、どこでも一番になっていました。明治大学や日本大学からスカウトが来ましたが、戦後初めて開かれた昭和22年の第23回箱根駅伝で明治大学が優勝した印象が良かったので、明治大学に進学しました。私が箱根駅伝を走ったのは1年生と2年生のときです。

地元の熱い応援を受ける。当時の平塚中継所は、平塚市役所前(2面下地図の平塚町役場と同じ位置)にあり、まだかまだかと待っていたら、沿道を自転車で走って様子を見てきた観客が、「3区の選手が馬入川のあたりで走れなくなっていて、歩いているぞ」と教えてくれたんです。その頃は厳密な交通規制もなかったため、自転車選手に並走してくる人がたくさん

いました。自転車に乗りながら状況を伝えてくれたり、選手を励ましてくれたりしていたんです。思い返すと、おそろかな時代でしたね。地元の人たちが木炭車のトラックに乗り込んで、選手に、「がんばれよー!」なんて言って着いてくるんです。平塚の四之宮に、私と同じく平塚農商高校から明治大学に行った先輩がいたんですが、応援団を作ってくれて、「フレ〜フレ〜! 久保!」と、応援してくれたのをよく覚えてます。足袋で平塚を駆け抜けた。当時のランナーの服装も、そりゃあ今とは全然違います。箱根の山は寒いので、選手はウエアに真綿を入れていたんです。私は第24回大会で大塚のマラソン足袋(記事冒頭の金栗四三と、東京都文京区大塚にあったハリマヤの職人が共同開発したマラソン用の足袋)を履いて走りました。でもマラソン足袋は、親指のところに分かれているのがどうにも気になってね。翌年の第25回大会では、釘を取ったスパイクシューズを地下足袋の底に自分で縫い付けて走りました。そのときは5区の岡正康さんがズック(運動靴)で走っていたのを覚えてます。走ることが好きで、83歳までマラソン大会に出ている私にとって、箱根駅伝は生きがいなんです。コロナ禍では沿道での応援ができませんでしたが、今年は沿道で選手たちを応援したいですね。

消防出初め式

伝統のはしご乗り(写真)や消防車両のパレード、市少年消防クラブの訓練成果披露などをします。消防署部隊による消防演技など見応えのある訓練も披露します。訓練のクライマックスでは豪快な一斉放水が見られます。

令和6年1月6日(土)午前10時～11時45分。荒天中止。総合公園平塚のはらっぱ。

消防総務課 ☎21-9725



募集

市有地を一般競争入札で売却します

売却物件 ①南金目1098-1、宅地。第一種住居地域。2085・57平方メートル。参考価格6382万円②宮の前1-14、宅地。商業地域。156・09平方メートル。参考価格9741万円③幸町8-6、宅地。第一種住居地域。244・52平方メートル。参考価格4769万円④見附町32-9、宅地。商業地域。279・56平方メートル。参考価格4753万円。

入札日時 ①②は令和6年1月25日(木)午前10時10分③④は25日午後2時10分入札開始。参加に必要な書類など、詳しくは市ウェブをご覧ください。市ウェブや本館4階の資産経営課 ☎21-8763 にある申込書などを、直接、令和5年12月19日(火)～令和6年1月11日(木)に、同課へ。

応募方法は 下段

民活動センター ☎31-7571 FAX 35-6601 info@hiratsuka-shimin.net にある申込書や、郵送・ファクス。メールまたは直接、令和5年12月16日(土)午前10時から、同センターへ。

企業・NPO・大学・パートナーシップミーティング

令和6年1月20日(土)午前9時30分～午後0時30分。約2・5時間。小雨決行。市漁業協同組合(千石河岸28-13)集合。小学生以上の方20人(抽選・小学生は保護者同伴)。小雨の場合は雨具。動きやすい服装と靴でお越しください。500円。

上級救命講習会

土曜日。消防署本署。市内在住・在勤・在学中で中学生以上の方、各講習会25人(先着順)。筆記用具。動きやすい服装でお越しください。講習会 令和6年1月20日午前9時～午後5時。2100円。再講習会 1月27日午前9時～正午。

自然環境アドバイザー派遣制度

市内での保全活動などへの助言を、有識者から受けられます。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

市ウェブや本館5階の環境保全課 ☎23-9969 FAX 21-9603 k-hozon-event

女流棋聖戦 大盤解説会



タイトル防衛をかけて、仲邑菫女流棋聖が挑戦者と対局します。大きなパネルを使って、戦局を解説します(写真)。

令和6年1月18日(木)午後1時～4時。ホテルサンライフガーデン(榎木町9-41)。200人(抽選)。

必要事項を、往復はがきで、令和5年12月16日(土)～令和6年1月4日(木)に、〒254-0045 見附町31-10 まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237へ。同財団ウェブからも応募できます。

ビブリオバトル

自分が読んで面白かった本を紹介し、参加者全員で1番読みたくなった本を決めます。

市内在住・在学中で①は小学校3～6年生②は小学校4年生・中学生。先着順。紹介したい本1冊・筆記用具・飲み物。

令和6年1月21日(日)午前10時～正午。なぎさふれあいセンター(袖ヶ浜20-1)。6人②21日午後1時30分～3時30分。なぎさふれあいセンター。6人③27日(土)2時～

職業適性検査を受けてみませんか

12月19日、令和6年1月16日の火曜日、午前10時～11時。勤労会館。15～49歳の仕事を探している方、各日4人(先着順)。

電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

お知らせ

温水プールの清掃・定期点検

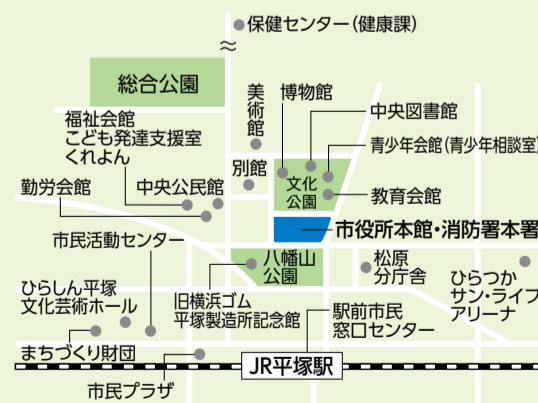
12月18日(月)～令和6年1月15日(月)の期間、トッケイセキユリティ平塚総合体育館温水プールを利用できません。また、令和5年12月17日(日)の一般利用は午後0時30

元旦に平塚八幡宮前の国道1号を横断できます

令和6年1月1日(祝)午前11時～午後3時。荒天中止。大門通り(明石町)から平塚、

応募方法

- 募 応募方法 応募必須 問 問い合わせ
- e 電子申請システム (e-kanagawa) で応募可
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、12月18日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールの応募の場合 @以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき	郵送・ファクス・メール
住所 氏名	イベント名 郵便番号 住所 全員の氏名 電話番号 その他の事項
返信	往信

湘南ひらつか織り姫になりませんか

平塚市の魅力を全国に伝える「湘南ひらつか織り姫」になって、市のイメージアップに貢献しませんか。湘南ひらつか七夕まつりをはじめ、観光行事や公的行事などに出席します。書類審査・面接で選考します。面接は令和6年3月16日(土)です。



今年の織り姫の3人

平塚市に興味があり、七夕まつりが好きな18歳以上の方3人(選考)。過去に織り姫に選出された方・タレント事務所などと専属契約をしている方・他市町村の観光大使などに選出されている方は応募できません。その他の条件など、詳しくは湘南ひらつか七夕まつりウェブをご覧ください。右の2次元コードからアクセスできます。

湘南ひらつか七夕まつりウェブで、令和5年12月15日(金)～令和6年1月15日(月)に応募してください。問い合わせは商業観光課 ☎35-8107へ。

